

(共有コード No. obt4zdwBaBLSmMbVc2A8wt7 ※オクリンク用
No. mb7AuRpJMLmqjRCB85kgpg ※ムーブノート用)

授業の詳細がわかる『授業デザイン案』（小学5年生国語）

～文章作成から推敲活動まで子ども完結で主体性を育む実践～

1 単元名

「漢字の広場」

（光村図書「国語5 銀河」）

2 単元の指導目標

- (1) 既習漢字を使って、正しく文や文章を書くことができる。
- (2) 文や文章の構成に着目して、文や文章を整えることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
既習漢字を使って、正しく文や文章を書くことができる。 読み直しの着眼点を知り、推敲のポイントも理解することができる。	推敲を行い、自身が書いた文章の構成や書き表し方に着目しながら文や文章を整えることができる。	「理想の時間割」の教科をもとに、積極的に既習漢字を使って文を書こうとしている。

4 本単元の POINT

漢字を文や文章の中で書けるようになるためには、意識して実際に使ってみることが重要である。子どもたちが意欲的に文章作成に取り組むために、題材の準備から子どもたち自身で行う。「理想の時間割」を作成し、ほかの教科の学習成果物を使って説明文章を作成する。タブレットを使用して自分だけの振り返りではなく、ペアでの推敲活動を行う。文章を作成する力だけではなく、読み直しの着眼点も理解することを目指す。最後には、ムーブノートを使用して振り返りシートまで子どもたちで作成を進める子ども完結型の学習活動である。

5 単元（全3時間扱い）

(1) 本時（第3時）までの学習記録

第1時 ・単元の目標と流れの説明、推敲する時の着眼点をリストで提示する。

- ・言語トレーニングの実施（※八幡市立中央小学校独自で作成している教材）
- ・「理想の時間割」と時間割内で設定した教科の学習成果物をカードにまとめる。

第2時 ・「理想の時間割」で設定した教科の学習成果物カードの作成を進める。

- ・「理想の時間割」の1、2時間目の教科に関する学習成果物をもとに文章を作成し、推敲する。

(2) 本時について

●本時

第3時

●目標

用意されたカードを見て、既習漢字を使い、正しく文や文章を書くことができ、整えることができる。

●本時の学習計画

「理想の時間割」の3、4時間目の教科に関する学習成果物をもとに文章を作成し、推敲する

- ・「使う言葉」や既習漢字に着目しながら、正しく文章を書く。
- ・推敲リストをもとにセルフチェックを行う。
- ・クラスの中を歩き回り、ペアで推敲活動を行う。
- ・セルフチェックとペアでの推敲活動後に、作成した文章を書き直す。
- ・書き直した文章をタブレットで撮影し、振り返りシートで気づきと一緒に共有する。

●本時の評価規準

既習漢字を使って、正しく文や文章を書くことができ、チェックリストを使い推敲している。

(3) 本時後の学習計画


※第3時で終了のため本時後の学習計画はなし




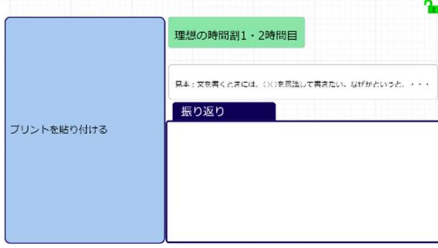
6 本時 (全3時間中の3時間目)

(1) 本時の目標

用意されたカードを見て、既習漢字を使い、正しく文や文章を書くことができ、整えることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点 ★評価	ミライシード活用 POINT
導入 (10分)	<p>【言語トレーニング】 (※八幡市立中央小学校独自で作成している教材) ○今まで習った漢字を意識して、カードを見て、推敲する。</p> <p>【本時の流れ確認】 ○本時の活動内容について確かめ、学習の見通しをもち、学習のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【めあて】 学習成果物のカードを見て、書いた文が正しく書けているかみんな確かめよう。</p> </div>	<p>○既習漢字とチェックリストの使い方を確認できるよう、言語トレーニングを設定する。</p> <p>○見通しを持って、学習に参加できるように本時の流れを提示する。</p>	<p>○共有したカード </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>授業の流れ</p> <p>①言語トレ</p> <p>②めあて</p> <p>③3時間目か4時間目のどっちか文章書く</p> <p>④セルフチェック → ペア推敲</p> <p>⑤まとめ 振り返りムーブノート</p> </div>

<p>展開 (30分)</p>	<p>【文章作成、文章共有化、文章推敲】</p> <p>○友だちの学習成果物が掲載されたカードを見て、文を考える。</p> <p>①自分が作った「理想の時間割」の3、4時間目の教科のカードを探す。</p> <p>②カードを見ながら、プリントに文章を書く。</p> <p>③書いた文を読み直し、セルフチェックをする。ペアでも推敲。</p> <p>④プリントを写真にとって、ムーブノートにアップする。</p> <p>⑤推敲した内容を伝え、書き直しを行う。</p> <p>【推敲内容確認】</p> <p>○推敲してもらい気がついたことや次に生かしたいことを発表する。</p>	<p>○意欲的に文が書けるように、自分たちで作成したカードを用いて言語活動を行う。</p> <p>○正しく文が書けているか確認できるように、チェックリストを活用する。</p> <p>○振り返りに生かせるように、既習漢字、文法、誤字脱字など、推敲してもらった観点を明確にして発表する。</p> <p>★既習漢字を使って、正しく文や文章を書くことができ、チェックリストを使い推敲している。（思・判・表）推敲チェックリストを使い推敲し、間違いをどのように整えるとよいかアドバイスを明確にできる。</p> <p>（「努力を要する」状況への手立て）既習漢字を使える部分に線を引き、気がつきやすいように支援を行う。</p>	<p>○共有したカード </p>  <p>1時間目 <input type="text"/></p> <p>2時間目 <input type="text"/></p> <p>3時間目 <input type="text"/></p> <p>4時間目 <input type="text"/></p> <p>教科【 <input type="text"/> 】</p> <p>言語 <input type="text"/></p> <p>単元名 <input type="text"/></p> <p>写真をはる</p> <p>さんの文章</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">推敲（すいこう）手順&チェックシート</th> <th>ペア</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>○・△</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文章を3回読みましょう。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>数は、漢数字で書けていますか？</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>漢字の間違え、送り仮名は正しく書けていますか？</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>句読点「。」や「、」をマスの一番上に書いていませんか？</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>句読点「、」が多すぎませんか？</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>「僕は、今日、友達と、遊んだ。」 「～です。～しました。」（敬体）と、「～である。～だ。」（常体）のどちらかに統一されていますか？</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	推敲（すいこう）手順&チェックシート		ペア			○・△	1	文章を3回読みましょう。		2	数は、漢数字で書けていますか？		3	漢字の間違え、送り仮名は正しく書けていますか？		4	句読点「。」や「、」をマスの一番上に書いていませんか？		5	句読点「、」が多すぎませんか？		6	「僕は、今日、友達と、遊んだ。」 「～です。～しました。」（敬体）と、「～である。～だ。」（常体）のどちらかに統一されていますか？	
推敲（すいこう）手順&チェックシート		ペア																									
		○・△																									
1	文章を3回読みましょう。																										
2	数は、漢数字で書けていますか？																										
3	漢字の間違え、送り仮名は正しく書けていますか？																										
4	句読点「。」や「、」をマスの一番上に書いていませんか？																										
5	句読点「、」が多すぎませんか？																										
6	「僕は、今日、友達と、遊んだ。」 「～です。～しました。」（敬体）と、「～である。～だ。」（常体）のどちらかに統一されていますか？																										
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○文を書くときに次から気をつけたいポイントをまとめに書く。</p> <p>○まとめで「なぜ、そのポイントを選んだのか」理由を振り返り、書く。</p>	<p>○「文を書くときに○○を意識して書きたい。」とまとめが書けるようにアウトラインを明記する。</p> <p>○これからの文章作成や作文に生かせるように、振り返りを行う。</p>	<p>○共有したカード </p>  <p>理想の時間割1・2時間目</p> <p>理由：文章書くときは、(1)を意識して書きたい。なぜかというら、...</p> <p>振り返り</p> <p>プリントを貼り付ける</p>																								

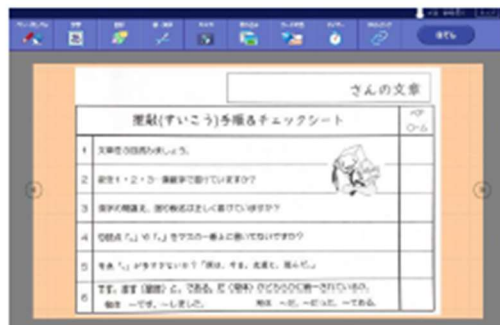
(3) 授業評価の観点（事後検討会の議題例）

- ・文章作成の題材準備から子どもたちが取り組んだ方法は、文章作成や推敲活動の意欲向上につながっていたか。
- ・オクリンクとムーブノート、紙のシートを使い分けながら構成する授業の進め方は効果的であったか。

理想の時間割単元イメージ

1 時間目

①単元の目標と流れの説明



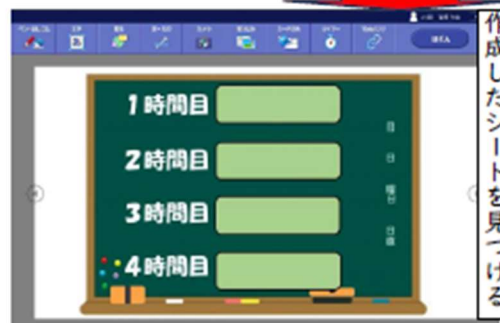
推敲するときの着眼点
書く技・推敲リストを
はじめに提示する

②付けてほしい力の説明



本時または、単元で必要な
力を授業導入で5分間行
う。実際に児童が作るシ
ートで言語トレを作成するこ
とでイメージも持たせる。

③言語トレーニングで単元のイメージとゴールを知る



このシートに、各児童が自
分の理想の時間割を書き込
むための型
この時間割を見て、友達が
作成したシートを見つける

④時間割作成&成果物を使ったシート作成
(休み時間、空きの時間にも作成)

2 時間目

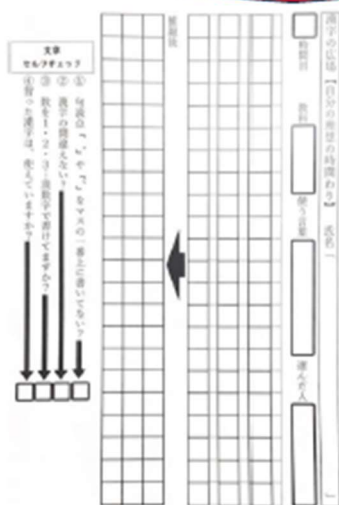
①シート作成



児童が作成したシート
このシートの言葉を使って
文作りをする。

②理想の時間割の1・2時間目の文章作成

*あとは、指導案通り



子どもたちは机にタブレットを置
ておき、プリントを持って、歩
く。自分の時間割と合う教科を見つけて
文を書く
左のセルフチェックは自分で気をつ
けながら書くポイント

3 時間目 指導案本時



漢字の広場【自分の理想の時間わり】 氏名

時間目

教科

使う言葉

選んだ人

推敲後



文章
セルフチェック

- ① 句読点「、」や「、」をマスの一番上に書いてない？
- ② 漢字の間違えない？
- ③ 数を1・2・3…漢数字で書いてますか？
- ④ 習った漢字は、使えていますか？

Four empty boxes corresponding to the check items above, with arrows pointing down from each item to its respective box.